

取組名	通学路点検		
特徴	教職員・児童・保護者・警察（駐在所所長）が協働した通学路点検と安全マップの作成		
学校名	岩国市立修成小学校	期日	平成30年5月9日（水）

1 わらい

保護者・警察（駐在所所長）と学校が、通学路を児童と一緒に歩き、交通事故と不審者からの被害防止の視点から、安全点検を行い、安全マップにまとめることで、事故や事件の未然防止を図る。

2 概要

(1) 取組の概要

育友会「補導保健部」の保護者が中心となって実施した。本校にある3つの登校班に保護者、警察、教職員が分かれて加わり、児童の下校に合わせて一緒に通学路を歩き、交通事故の防止と防犯の側面から危険箇所を見つけ、カードに書きためていく。カードに書かれたものをもとに安全マップにまとめ、児童、保護者に配付するとともに、7月に行う「地区懇談会」で活用し、地域の安全意識の高揚も図る。

(2) 当日の流れ

- 13:45までに、下校できるようにしておく
- 13:45～14:00 通学路点検始めの会
各登校班で点検場所確認
- 14:00～14:45 通学路危険箇所点検・危険箇所撮影
子ども110番の家へお礼のあいさつ
- 14:45～15:00 振り返り（カード記入）
解散

3 成果と今後の課題等

(1) 成果

毎年取り組んでいる活動でもあるため、高学年の児童は、それぞれの視点からの危険な箇所が頭に入っている。そのため、日ごろ通学するときから、危険箇所には近付かないよう心がけている様子が見える。

育友会の「補導保健部」は低学年児童の保護者を中心に編成されているため、入学後の早い段階で、我が子が通る通学路にどんな危険が潜んでいるか気付くことができるため、家庭での声かけに生かすことができる。

作成した安全マップは、7月末に行う「地区懇談会」で活用するのだが、そのときに、それぞれの登校班の地域の方にも参加していただくことから、児童の登下校の見守り活動に生かすことができる。

(2) 課題

毎年行っていることもあり、高学年児童にとっては、マンネリ化してくるため、児童の興味・関心を持続させることが難しい。

危険箇所を見つけても、改善のための方策が見つかりにくかったり、費用がかかったりするため、改善に生かすにくいことがある。



出発前のKYTの学習



通学路の危険個所の確認



こども110番の家へのあいさつ



地区懇談会での安全マップの活用